

ブラウザ拡張機能のセキュリティに関する研究

A study on the security of browser extensions

伊藤朝美・マネジメント分科会・情報セキュリティ大学院大学

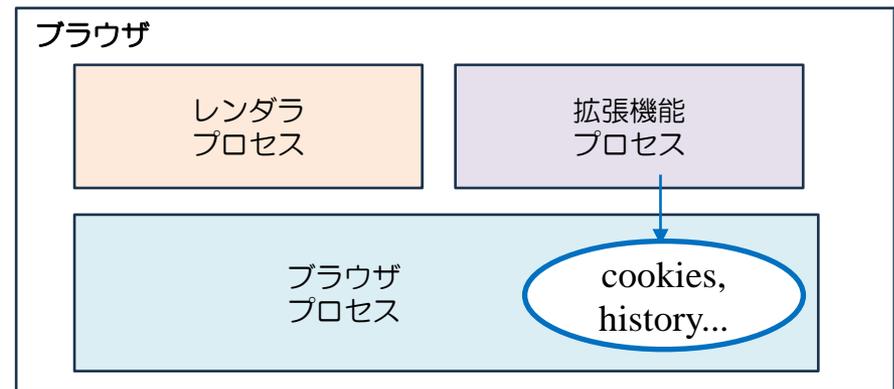
背景と目的

ブラウザ拡張機能は便利な一方で、アカウント情報の窃取を試みたり、検索結果を改ざんさせる拡張機能が存在するなど、その脅威も報告されている。本研究では、ブラウザ拡張機能によるスパイ行為（機密情報の窃取と外部送付）の検知に焦点をあてる。

今後の計画

- ソースコードを用いたブラウザの動作検証（拡張機能インストール時の動作含む）
- 悪性挙動の際に出現する特徴がないか調査

ブラウザ拡張機能の仕組みと既存研究



ブラウザは、信頼できないリモートコンテンツとやり取りを行うレンダラプロセスと、重要データを保管するブラウザプロセスとに分離されている。拡張機能はブラウザプロセスが提供するAPI（タブ、ストレージ、cookies、ブラウザ履歴へのアクセス等）を要求でき、既存研究には、このようなAPIへのアクセスに着目した解析手法の提案等が存在する。